

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画を作るにあたり、入居者個々のデータ(ADL、生活暦等)がスタッフ間で共有出来ていない部分がある。その為か、入居者やご家族の希望がまだ十分に反映されていない計画になっていると思われる。	入居者やご家族の意見や希望が十分に反映された介護計画を作成する。	「センター方式」を適切に活用し、アセスメント後の流れや記録の方法を見直す。	6ヶ月
2	6	「身体拘束」等についてスタッフの意識にバラツキがある。	スタッフの意識を高め、今後も「拘束」やそれに近い行為が無い状態を継続する。	「虐待防止」や「拘束」についての研修がほとんど受講できていないので、新人、中堅、リーダークラス、管理者クラス共に外部研修を受講し、また、社内での勉強会も企画する。	12ヶ月
3	35	災害時に近隣や町会と連携する体制がまだ十分に出来ていない。	万一の火災、自然災害時に近隣の方と連携して、救助や避難活動が行える体制を作る。	「運営推進会議」や町会の会議などで話し合いを進める。また、「グループホーム」がどのような所なのか分からない方も多いため、説明の機会も設ける。	12ヶ月
4	20	入居者がかつての馴染みであった人が訪ねてきやすい雰囲気を作りたい。現状は来客も少なく、ご家族の来訪も一部の入居者しかない。	行事や運営推進会議、ケアカンファレンス以外でも「訪れやすい雰囲気」をもったホームにしたい。	各入居者の生活暦等の情報がまだ少ないので、情報収集を更に進める。また、新規の入居者には、入所前からの情報を無理の無い範囲で集め、整理しておく。	6ヶ月
5	4	「運営推進会議」が定期的に行われておらず、開催に偏りがあったり、情報伝達にも支障をきたしている(基本的には2ヶ月に1度「奇数月」に開催)。	確実に2ヶ月に1度(年6回)開催され、情報が出席者以外にも正確に伝わる。	スケジュールの調整を的確に行い、開催が偏ったり、中止にならない様努める。又、会議内容については、出席者以外(ご家族の方など)にも幅広く伝達する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。